

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援たんぽぽ		
○保護者評価実施期間	令和6年11月25日		～ 令和7年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5家庭	(回答者数) 5家庭
○従業者評価実施期間	令和6年11月25日		～ 令和7年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりに合わせた支援を行なう。 子どもたちが安心感を持って楽しく過ごせるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子を職員間で共有し、その子の状況を把握して一緒に好きな遊びを楽しむ。 その子の好きな遊びをたっぷりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 打合せや懇談を通じて、子どもへの理解を深めていくようにする。 遊びや活動などをより楽しいものにしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 保育園との交流を積極的に行ない、集団で過ごす経験や、色々な刺激を受けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みなど一緒に行ない、どの子ども無理なく楽しめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な交流をより活発に行なう。 行事など一緒に参加できるものは参加する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連携を大事にして、安心して子どもを預けてもらえるようにしている。 保護者同士がつながりあう機会を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡ノートを活用し、お迎え時にも声をかけ、日常的に保護者とのコミュニケーションを図っている。 懇談会を実施し、保護者同士で交流できる機会を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人や集団の懇談の両方を実施し、より保護者と連携をとるようにしていく。 保護者の要望や悩みに応じて、学習会や研修へ案内する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 支援時間が9:30～12:30で短い。(お昼寝まで時間を伸ばしてほしいという要望がある。) 	<ul style="list-style-type: none"> 支援時間は、集団生活へなれるための一歩として負担が少ないように短くしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の要望が多くなるなど、状況の変化に応じて検討していくようにする。
2	<ul style="list-style-type: none"> 送迎がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時に保護者に事業所の様子を見てもらったり、話ができることも大切だと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の要望が多くなるなど、状況の変化に応じて検討していくようにする。
3			